

出穂早い予想！「はえぬき」「雪若丸」「つや姫」の穂肥の時期は終わりを迎えています！まだの場合はすぐ穂肥！カメムシ多い！草刈り徹底！

7月10日現在の生育診断圃の生育は、草丈がやや長い～長い、茎数は少ない、葉数がやや多い～多い、葉色が薄い状況となっています。幼穂長調査等から**東南おきたま管内の「はえぬき」「雪若丸」の出穂は7月29日頃から、「つや姫」の出穂は8月6日頃から始まる**とみており、穂肥の施用時期は終盤となっています。まだ施肥していない場合は早急に施用しましょう。また、7月2日に**斑点米カメムシ類注意報**が発出されました。畦畔や農道の草刈りを徹底して、生育密度を下げ、適期防除で被害ゼロを目指しましょう。

生育状況（7月10日現在、農業技術普及課生育診断圃）

「はえぬき」生育診断圃の状況

項目	川西町吉田		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	58.6	109	長い
茎数(本/㎡)	525	86	少ない
葉数(枚)	10.7	0.3	やや多い
葉色(SPAD)	41.6	-3.5	薄い

「つや姫」生育診断圃の状況

項目	川西町黒川		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	63.8	104	やや長い
茎数(本/㎡)	477	78	少ない
葉数(枚)	10.8	0.3	やや多い
葉色(SPAD)	36.5	-6.0	薄い

「雪若丸」生育診断圃の状況

項目	高畠町山崎		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	62.0	115	長い
茎数(本/㎡)	538	79	少ない
葉数(枚)	12.2	0.8	多い
葉色(SPAD)	41.8	-3.0	薄い

1か月予報（7月3日 気象庁発表）

気温：7/5～7/11：高い
7/12～7/18：高い
7/19～8/1：高い
降水量：少ない見込み
日照時間：多い見込み

つや姫の穂肥診断 直ちに実施！

- 茎数 600 本/㎡以下かつ葉色（SPAD）39 以下の場合→出穂 30 日前：N成分 1.5 kg/10 a
- 茎数 600～650 本/㎡、または葉色（SPAD）39～41 の場合→出穂 30 日前：N成分 1.0 kg/10 a 以下
- 茎数 650 本/㎡以上、または葉色（SPAD）41 以上
→出穂 25 日前まで葉色が低下したら、N成分 1.0 kg/10 a。

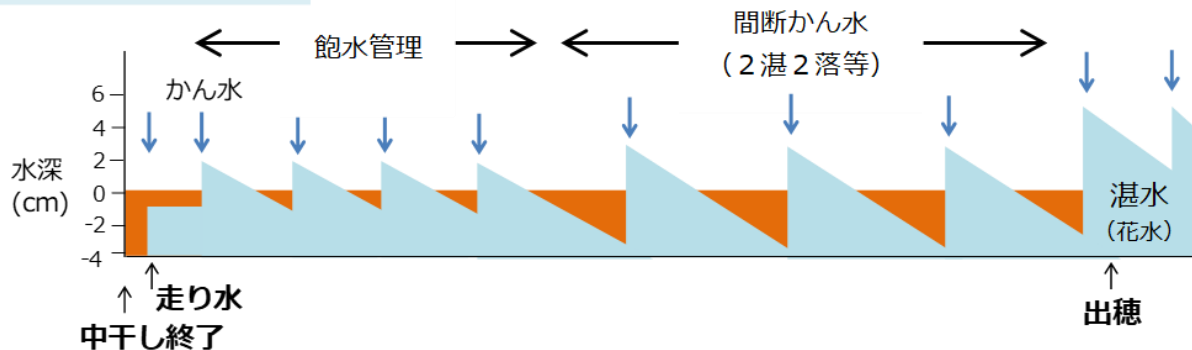
雪若丸の穂肥診断 直ちに実施！

- 茎数 560～750 本/㎡以下、葉色（SPAD）40～44 の場合→出穂 25 日前：N成分 1.5 kg/10 a
- 茎数 560 本/㎡未満、葉色（SPAD）40 未満の場合→早めの穂肥、出穂 30～26 日前：N成分 1.5 kg/10 a
- 茎数 750 本以上、葉色（SPAD）44 以上の場合→出穂 25 日前、N成分 1.0～1.2 kg/10 a
※幼穂長 0.5mm～1 mm ⇒ 出穂 25 日前

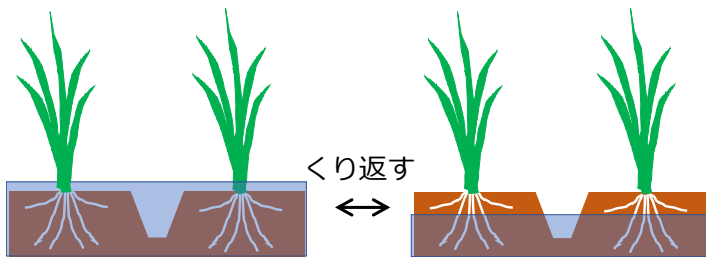
中干し終了後～出穂までは「飽水管理」「間断かん水」を徹底し、根をしっかりと伸ばす！！

- 中干し終了直後は、飽水管理（土壌表面の足跡に水が残る程度）とし、徐々に間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替え、根の活力を維持します。
- 中干しが十分に行えなかったほ場では、間断かん水の落水期間をやや長めにしましょう。

水管理のイメージ



【飽水管理のイメージ】



水深 1～2cm に入水

田面マイナス 1～2cm 程度に減水



地表（田面）に水がないが、くぼみには溜まっていて、土壌が常に湿潤状態に保たれている

- ◎ **水のためっぱなしは致命傷！土壌の還元が進み根へのダメージ！**
- ◎ 水管理を効率的かつ容易にするため、作溝は必ず実施しましょう！

いもち病に要注意！

- 「葉いもち」の発生に要注意！圃場をよく観察し、**早期発見・早期防除**を徹底しましょう。
- 「穂いもち」対策の粒剤は出穂 20～10 日前に施用しましょう。



葉いもちの病斑

「斑点米カメムシ類の発生」多い！

- 地域全体で斑点米カメムシ類の密度を減らすことが重要です。
- 7月20日頃まで畦畔・農道、雑草地の除草（草刈り）を地域ぐるみで行いましょう。**
- 水田内のイヌホタルイやノビエは、アカスジカスミカメの発生源になります。残草対策を徹底しましょう。
※除草剤は使用基準を確認し、使用しましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ

農作業事故・熱中症に注意！

山形県農薬危害防止運動実施中！～農薬を使用する際は使用基準を再確認！その都度記帳！～